

みんながよい顔をしている。
私たちはそんな病院を
目指しています。

手を取り合って、
新しい未来へ。

笑顔を明日につなぐ場所。



東京慈恵会医科大学
西部医療センター

※仮称

—— 2026年1月 リニューアルオープン ——

笑顔を明日につなぐ場所。



東京慈恵会医科大学
西部医療センター

※仮称

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町 4-11-1
TEL 03-3480-1151(代表)

—— 2026年1月 リニューアルオープン ——



※病院所在地は変わりません。



特設サイトはこちら

＜予定工期＞

(仮称)新本館棟竣工	2025年9月末
開院	2026年1月
解体・外構完了	2027年7月

階数 地上8階、地下1階

ある年の春。

慈恵医大第三病院の病棟フロアに
大きな桜の木が持ち込まれ
花をつけていました。

ベッドから動けない患者さんにも
春の笑顔を。

それはスタッフの熱意であり、
病院の信念でもありました。

2026年1月。

第三病院は生まれ変わります。
でもこの地で75年余育んできた
私たちの思いは変わりません。

このリーフレットを広げると
1枚につながるイラストのように
診療科を越えたチーム医療で
病院をたくさん笑顔が咲く場所に
していきます。



New Smile!

2026年、1月。

慈恵医大第三病院が生まれ変わります。

患者さんも、ご家族も、地域の方々も、
医師も、看護師も、病院で働くスタッフも
みんながよい顔をしている。

私たちはそんな病院を目指しています。

笑顔を明日につなぐ場所。

(仮称)東京慈恵会医科大学西部医療センター

2026年、1月リニューアルオープン。

ご期待ください。



東京慈恵会医科大学
西部医療センター

※仮称



シームレスにつながる 新しい病院

1 診療科をつなぐ

がん、脳卒中、心筋梗塞等の血管疾患、糖尿病や精神疾患、小児医療、周産期医療、救急医療、災害医療、在宅医療。診療科の垣根を越えたチーム医療で、シームレスな治療を実現します。

3 人生をつなぐ

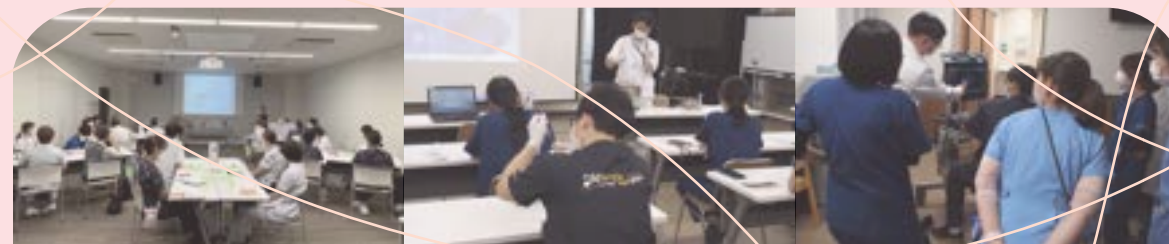
緊急性の高い病気の治療に留まらず、早期発見や発症予防まで、人生に寄り添う病院を目指します。つらさを和らげるためのアプローチを患者さんと共に考え、ご本人とご家族の人生観やご希望に沿った治療や緩和ケアを行います。

2 地域をつなぐ

地域医療のニーズに対応するために、急性期医療から非急性期医療、社会復帰へのシームレスな医療サービスを当院と地域医療連携ネットワークを通じて構築します。

4 未来につなぐ

学校、市区、医師会、保健所などと協働し、医療から福祉事業、都市計画にまでわたり、私たちの医療・教育・研究の資源を活用。地域社会に貢献する事業計画で、たくさんの笑顔を未来につなぎます。



診療科の垣根を越えた チーム医療

大学病院ならではの充実した専門医、多職種のコメディカルスタッフで構成されたチーム医療を実践。安心、安全でより専門的な医療を総合的に提供するために診療のセンター化を図ります。

- ◆ 消化器・内視鏡センター
- ◆ 脳卒中センター
- ◆ がん診療センター
- ◆ デイ・サージャリーセンター
- ◆ 認知症疾患医療センター
- ◆ 健康推進センター（ガジュまる教室）

